

真田一族が生きた上田の城下町をガイドと歩く 真田氏ゆかりの地まち歩き

日本一の兵(ひのもといちのつわもの)と称された「真田幸村(信繁)」。
その父、真田昌幸が築いた城下町上田。歴史情緒はもとより、理にかなった武家町、
町人町の配置は今なお受け継がれ、戦国の世を思い描かせます。真田一族の歴史に
思いを馳せ、城下町上田に点在する真田氏ゆかりの地をめぐるコースです。



ガイドとめぐるまち歩きコース

- 一 上田駅観光案内所
- 二 真田幸村公騎馬像
- 三 上田映劇
- 四 願行寺
- 五 月窓寺
- 六 大輪寺
- 七 海禅寺
- 八 保命水・柳町
- 九 芳泉寺
- 十 (歴史の散歩道)
- 十一 上田城
- 十二 上田市観光会館

五 海禅寺 KAIZENJI



真田昌幸が上田城築城の時、鬼門除けのため、海野郷（現東御市）から移転、建立されました。信之が松代に移封の折、真田氏のゆかりの上田城に一寺がなければならぬと残したといわれています。

六 保命水・柳町



格子造りの家並みと、土蔵が建ち並び街道時代の古い町並みを残す柳町。名前の通り柳が植えられ、味噌蔵、酒蔵などが軒を連ねています。明治14年に町人の手で湧水を引いた保命水が今も清水を湛えています。

七 芳泉寺 HOSENJI



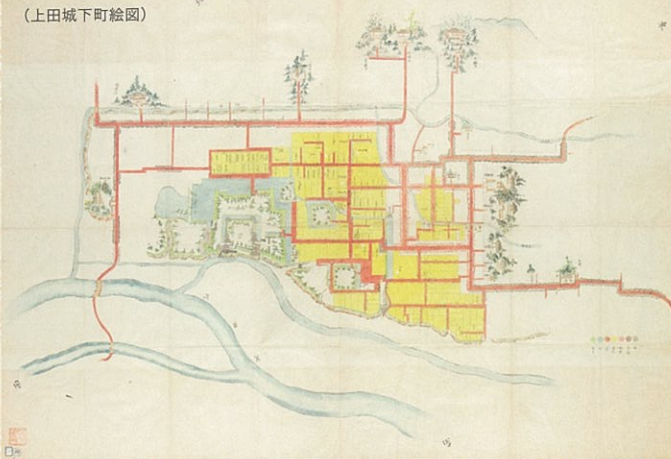
開創当時は「常福寺」と称し、二代城主・真田信之の菩提寺でした。正室として信之を支え、真田十萬石の基をつくった徳川家康の養女・小松姫の墓があります。高さ3mの宝篋印塔（ほうきょういんとう）で、姫の経歴が刻まれています。

八 上田城



天正11年（1583年）真田昌幸が築城した平城で、徳川の大军を二度にわたって退けた「難攻不落」の名城。数ある城郭のなかで二度もの実戦経験を持ち、輝かしい戦果をあげた城は全国的にも例がありません。春の千本桜まつりが人気で4月中旬には周囲一体が約1,000本の桜に包まれます。

真田氏の城下町上田



天正11年（1583年）真田昌幸は、上田城を築くと同時に城下町づくりにとりかかりました。

まず、城の周辺に武家屋敷を配置し、その外側に商人・職人町をつくりました。商人・職人町の中核となったのは、今でも上田の中心街として商店街や郵便局名などにその名が残る「海野町」と「原町」です。

真田氏の祖先・海野氏の本拠地・海野郷（現東御市本海野）と真田氏の居館、通称「御屋敷」のあった原之郷（現上田市真田町本原）から人々を城下へ呼び寄せ、移住させて、中心街をつくったのです。その後、海野郷から、鍛冶職人および紺屋職人を呼び寄せ、鍛冶町・紺屋町ができました。その後、横町・田町・柳町という、城下の町人町が整備されていきました。

真田三代



ゆきたか
真田幸隆 1513年～1574年

真田氏中興の祖。「海野平の合戦」に敗れ一旦は失領するものの、武田信玄に仕え、難攻不落の砥石城を一夜で攻略するなど数々の軍功を挙げ、真田氏繁栄の礎を築く。



まさゆき
真田昌幸 1547年～1611年

真田幸隆の三男として幼少よりその才智を見出され、武田信玄の小姓から足軽大将に抜擢された。信玄のもとでは武藤喜兵衛を名乗ったが、兄の戦死により真田家を継いだ。上田城で徳川の大军を二度に渡り撃退するも、晩年は紀州に流され故郷に戻ることはなかった。



のぶゆき
真田信之 1566年～1658年

昌幸長男。正室は、徳川四天王の一人・本多忠勝の娘、小松姫（徳川家康養女）。関ヶ原の戦いでは、東軍に属して戦った。合戦後、上田・沼田に領地を安堵されるが、その後信濃松代に移封。93才で没するまで松代藩10万石の礎を築いた。



ゆきむら
真田幸村（信繁）1567年～1615年

昌幸次男。通称は左衛門佐。関ヶ原の戦いでは父と共に西軍（豊臣家）に属し戦ったが、敗戦により紀州に配流となった。その後、大坂冬の陣では豊臣家に招かれ大坂城に入城し、中心となって徳川軍を苦しめた。夏の陣では、家康本陣まで肉迫したが、惜しくも力尽きた。

一般社団法人 信州上田観光協会
UEDA Tourism Association

〒386-0024長野県上田市大手2丁目8番4号
Tel: 0268-71-6074 Fax: 0268-71-6076
<http://www.ueda-cb.gr.jp/>

真田氏ゆかりの地
まち歩きガイドマップ

SANADA

WALKING GUIDEMAP

真田昌幸
真田信之
真田幸村

一般社団法人
信州上田観光協会

一 真田幸村公騎馬像



上田駅前広場にたつ上田城築城400年を記念して建立された幸村（信繁）の騎馬像。幸村が上田城にいたのは青年期であったため像は若武者の姿をしています。

二 願行寺 GANGYOJI



真田昌幸の命により、海野郷（現東御市）から移された寺で、300年の歴史を今に伝える四脚門が見どころ。みごとな彫刻が施された風格ある桃山風の四脚門は上田市の指定建造物です。

三 月窓寺 GESSOJI



真田幸隆の弟、常田隆永が仏堂を建てたのが始まりで、第一次上田合戦の折、焼失し、幸村が再建したといわれています。竜宮城のような唐門にコテで描かれた竜の絵は必見です。

四 大輪寺 DAIRINJI



真田昌幸が上田城築城の時、正室山之手殿（寒松院）の発願によって、現在地に再建された禅寺。再建以前は砥石城の東麓にあったといわれています。寒松院のお墓は、上田市指定史跡に登録されています。